



けいえいそうだんしつ

経営相談室だより

経営相談室専門相談員
みどり建築企画一級建築士事務所
むらかみ とくかず
一級建築士 村上 徳一

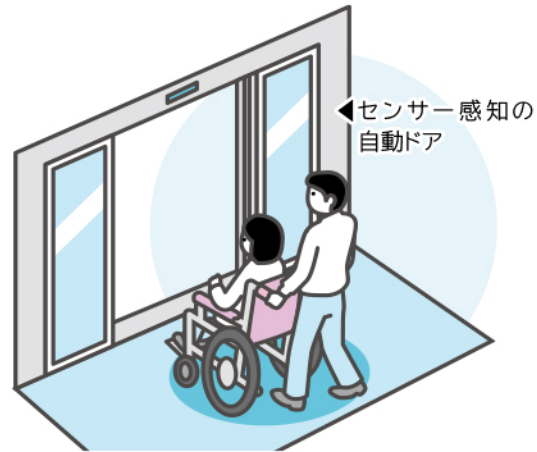
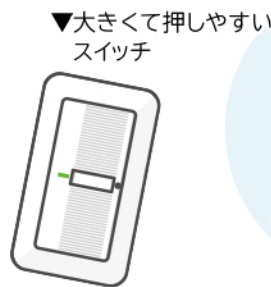
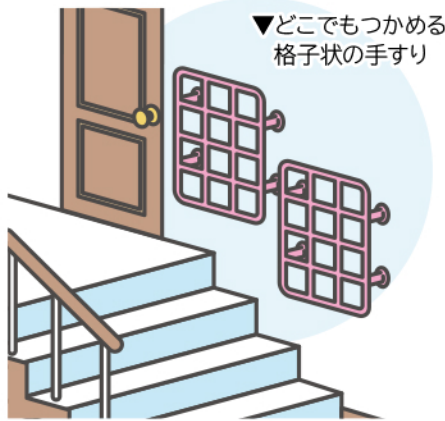
ユニバーサルデザインで、ひとにやさしい空間づくり

UD7つの原則

- 1、だれでも使える
 - 2、使う上で自由度が高い
 - 3、かんたんに使える
 - 4、必要な情報がわかりやすい
 - 5、うっかりミスも危険につながらない
 - 6、少ない力で楽に使える
 - 7、身体的状況に関係なく広さがある
- UDは身近にあり、探せばいくらでも見つけられます。

UD仕様のものを、すぐに取り入れることは難しいと思いますが、日頃から喚起いただき、新築・改修の際に取り入れ、人にやさしい空間をつくられることをおすすめします。

東京2020オリパラを契機に、聞くことが多くなったユニバーサルデザイン(※以下UD)。話題になったピクトグラムもその一つです。
バリアフリーは、障がいのある人・お年寄りといった「特定の方への配慮」で、UDは、どんな人でも使えるようなデザインが「最初からされている」ものをさします。
今号では建築士の目線から、福祉施設に推薦するUDを紹介します。



大阪府内の社会福祉法人で実績多数!!



ITに、こころ粋。
HDM 株式会社 阪南ビジネスマシン
お問合せは... **TEL 072-277-0855**



表紙

ユニバーサルデザインの説明

1. 触っただけで区別できるシャンプー容器のきざみ
2. 開け口がわかりやすい牛乳パックの切り欠き
3. 誰でも楽に移動できるスロープ
4. 立体的でわかりやすいトイレ表示
5. 混雑時も目立つエレベーター案内ルート表示

※3・4・5は、なんば駅周辺